

別添4(10)テーマ別 プロジェクト形成・実施に関する視点・インパクト等を計る指標
 3.「社会統合・エンパワメント」 3-3 コミュニティの紛争管理能力強化

プロジェクト形成に際して必要な視点		モニタリング・評価		参考プロジェクト
項目	確認事項	モニタリングのポイント	指標例	
協力実施にあたっての前提条件	・(新制度の構築を支援する場合)政府の政策的コミットメント、ADRメカニズムの制度化に関する方針	<p><モニタリング事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・紛争管理に関する活動(コミュニティ調停等)を通じた紛争解決状況とともに、コミュニティのエンパワメントや社会的変化に関する進捗を見る ・(新しい国づくりプロセスが進行している場合)公的な制度との不和はないか ・(コミュニティ調停等は法的強制力をもたないことが多いため)公的な司法制度へのアクセスの道は開かれているか <p><留意事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・紛争解決状況のみならず、コミュニティへのインパクトをモニタリングすることが重要 ・コミュニティレベルの紛争管理は不透明になりがちであるため、紛争解決結果を定期的にモニタリングする必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・育成された調停人の数 ・調停人のコミュニティ調停と紛争管理への自信が向上する ・コミュニティ調停サービスに登録され解決された事案数、紛争解決数・解決率、解決された紛争の内容、紛争当事者sの属性 ・紛争当事者及び住民間関係の変化 ・紛争当事者/住民の行動・考え方変化 ・調停人のマインドセットの変化 ・紛争管理の手段としてのコミュニティ調停サービスに関する住民の信頼・満足度 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネパール「コミュニティ内における調停能力強化プロジェクト」(技術協力プロジェクト、2010年1月～2013年9月) ・ネパール「コミュニティ内における調停能力強化プロジェクト フェーズ2」(技術協力プロジェクト、2015年7月～2018年7月)
支援のタイミング	・政治及び国づくりプロセスとの関係			
対象地域・裨益者の選定	<p><対象地域の選定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・紛争勃発、再発リスク:リスクが高い地域を選定 <p><調停人の選定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・明確な調停人の選定基準が設けられているか ・調停活動の政治的中立性や公平性が確保され得るか ・対象地域の属性や対立軸が把握されているか。調停人の選定自体が、紛争を助長するリスクはないか 			
実施体制・実施機関の確定	<ul style="list-style-type: none"> ・紛争管理に関する権限・マンドートはあるか ・コミュニティに近い行政単位に人員が配備されているか ・(不透明になりがちであるため、調停結果等を)定期的にモニタリングする体制は構築される予定であるか 			
活動内容の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・(紛争終結後の場合)国づくりプロセスや公的な司法制度とコミュニティ調停制度の整合性はとれているか ・調停活動の政治・社会的中立性や公平性が確保されるアプローチが採られているか ・コミュニティ調停で紛争解決出来なかった場合、フォーマルなシステムにリファーする仕組みが確保され得るか ・新たな制度を構築する場合、幅広いコンサルテーションを実施することになっているか。反対し得るステークホルダー(紛争解決を担ってきた伝統的リーダーなど)は把握されているか 			